

資料	顕微鏡を上手に使うために こんなときどこが悪いか
-----------	-------------------------------------

- ・何も見えない時はまず次の点を確認する。
正しく顕微鏡がセットされているか？ レボルバーの位置，しぼりの位置。
観察したいものがスライドグラスに載っているか？
観察したいものが真ん中にきているのか？

A 真っ暗で何も見えない，像は見えるが暗い場合

その原因	正しい操作
・反射鏡の向きが正しくない	・反射鏡を調節してみる
・回転絞りの場合，絞りの穴が正しい位置になっていない	・回転絞りを動かして，一番大きな穴のところのカチッと止める
・平面鏡を使って照明している	・凹面鏡に切り替える
・観察する場所が暗い	・明るい場所に移る

B 明るい何も見えない

その原因	正しい操作
・試料がステージの穴に置かれていない	・プレパラートを少し動かす
・ピントが合っていない	・ピントを合わせる
・明るすぎる	・絞りをすこし絞ってから検鏡し直す

C 像がぼんやりしている場合

その原因	正しい操作
・ピントが合っていない	・ピントを合わせる
・レンズが汚れている	・レンズをレンズクリーナーでふき取る
・暗すぎる	・絞りを開けて再度検鏡する

D 光にむらがある場合

その原因	正しい操作
・反射鏡の向きが正しくない	・反射鏡を調節する
・回転絞りの場合，穴の位置が少しずれている	・カチッと音がして止まるまで回転する
・レボルバーが途中で止まっている	・カチッと音がして止まるまでレボルバーを回転する

E プレパラートに泡が入りやすい場合

その原因	正しい操作
・スライドグラス，カバーグラスが汚れている	・手あかのついたスライドグラスを用いると，気泡ができてやすいので，洗剤を用いてよく洗い，清浄なティッシュでふき取る
・試料が大きすぎる	・大きくても5mm角にまで切り取り，再度プレパラートを作り直す